

【表紙】

| | |
|------------|------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 四国財務局長 |
| 【提出日】 | 平成27年2月12日 |
| 【四半期会計期間】 | 第52期第2四半期（自平成26年10月1日至平成26年12月31日） |
| 【会社名】 | 穴吹興産株式会社 |
| 【英訳名】 | ANABUKI KOSAN INC. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 穴吹 忠嗣 |
| 【本店の所在の場所】 | 香川県高松市鍛冶屋町7番地12 |
| 【電話番号】 | 087(822)3567(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 専務取締役管理本部長 富岡 徹也 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 香川県高松市鍛冶屋町7番地12(本社) |
| 【電話番号】 | 087(822)3567(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 専務取締役管理本部長 富岡 徹也 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第51期 第2四半期連結 累計期間 | 第52期 第2四半期連結 累計期間 | 第51期 |
|----------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成25年7月1日 至平成25年12月31日 | 自平成26年7月1日 至平成26年12月31日 | 自平成25年7月1日 至平成26年6月30日 |
| 売上高 (千円) | 47,296,876 | 44,955,823 | 68,621,805 |
| 経常利益 (千円) | 6,030,527 | 4,769,299 | 4,388,401 |
| 四半期(当期)純利益 (千円) | 3,343,784 | 2,857,403 | 2,465,417 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 3,340,138 | 2,872,212 | 2,466,656 |
| 純資産額 (千円) | 14,546,649 | 16,239,630 | 13,510,160 |
| 総資産額 (千円) | 56,521,295 | 57,676,842 | 55,735,655 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円) | 62.69 | 53.57 | 46.22 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 25.2 | 27.6 | 23.6 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 10,850,278 | 7,829,518 | 1,894,278 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 708,302 | 866,566 | 8,780,148 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 747,342 | 2,315,266 | 7,082,772 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円) | 18,177,465 | 9,869,110 | 5,191,177 |

| 回次 | 第51期 第2四半期連結 会計期間 | 第52期 第2四半期連結 会計期間 |
|-------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自平成25年10月1日 至平成25年12月31日 | 自平成26年10月1日 至平成26年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 41.99 | 0.05 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き政府の経済対策等の効果から企業業績や雇用環境の回復傾向が続いておりますが、消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動から個人消費等の減退傾向も見られました。

このような状況の中で、当社グループは主力である新築分譲マンション事業において、消費税10%の再引上げは平成29年4月に延期されましたが、それまでの確実な需要の取り込みと再引上げ後に予想される大きな需要減退を見据えて、引き続き販売力の強化により早期売上に注力してまいりました。また、少子高齢化及び人口減少により新築分譲マンション市場の縮小が予想される中で、新たな収益の柱に育てるべく、強化を行っている介護医療関連事業への投資を引き続き積極的に進めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は44,955百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益4,956百万円（同20.2%減）、経常利益4,769百万円（同20.9%減）、四半期純利益2,857百万円（同14.5%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更し「介護医療関連事業」を加えております。

不動産関連事業

不動産関連事業におきましては、主力である新築分譲マンションの販売について、前年同期の消費税率引上げ前の駆け込み需要に対して、引上げ後の反動減により、契約戸数は726戸（同15.4%減）と減少しました。また、売上戸数も1,427戸（同11.8%減）と減少しましたが、これまで消費税率引上げに備えて販売及び建物の引渡し時期を前倒しにすることで、通期での売上予定戸数1,776戸の内、当第2四半期連結累計期間において、既に80.3%を売上計上したことになります。なお、今期売上予定戸数1,776戸の内、当第2四半期連結会計期間末における未契約住戸も8戸だけとなり、順調に推移しております。

この結果、不動産関連事業の売上高は36,949百万円（同8.0%減）、営業利益は5,386百万円（同12.1%減）となりました。

人材サービス関連事業

人材サービス関連事業におきましては、派遣市場の活性化に資する制度変更を前に、これを追い風として再成長を遂げるべく、強みを有する四国に経営資源を集中し、営業体制の強化等に取り組んでまいりました。

この結果、人材サービス関連事業の売上高は3,000百万円（同1.2%減）、営業利益は37百万円（前年同期は営業損失27百万円）となりました。

施設運営事業

施設運営事業におきましては、運営受託施設の増加等により、売上高は2,819百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益は124百万円（同18.1%増）となりました。

介護医療関連事業

介護医療関連事業におきましては、サービス付き高齢者専用賃貸住宅及び住宅型有料老人ホームの運営に関して、当事業を将来の基幹事業の一つとするべく、開設スピードを早めておりますが、現在、開設後1年を経過した高稼働率の9施設386室に対して、人材募集等の開設資金や開設前の準備資金等が必要となる開設後1年未満及び今後開設予定の施設が17施設（開設後1年未満11施設521室、開設予定6施設266室）あることから、売上高は861百万円、営業損失は564百万円となりました。

なお、当事業については、第1四半期連結会計期間より、セグメント区分の変更により新たに追加されたことから、前年同期比率はありません。

その他事業

その他事業におきましては、売上高は1,324百万円（前年同期比13.2%減）、営業損失は28百万円（前年同期は営業利益7百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、9,869百万円となり、前連結会計年度末と比べ4,677百万円増加しました。

当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は、7,829百万円（前年同期は10,850百万円の獲得）となりました。これは主にマンション事業に係る仕入債務の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は、866百万円（前年同期は708百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は、2,315百万円（前年同期は747百万円の使用）となりました。これは主にマンション事業のプロジェクトに係る金融機関からの借入れの返済によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第 2 四半期連結累計期間において新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 230,000,000 |
| 計 | 230,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成27年2月12日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|---|-----------------------------|------------------------------------|--------------------|
| 普通株式 | 57,678,000 | 57,678,000 | 東京証券取引所 (市場第一部) | (注) 単元株式数1,000株 |
| 計 | 57,678,000 | 57,678,000 | - | - |

(注) 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|----------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成26年10月1日～ 平成26年12月31日 | - | 57,678,000 | - | 755,794 | - | 747,590 |

(6) 【大株主の状況】

平成26年12月31日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|--|--|---------------|--------------------------------|
| (株)穴吹ハウジングサービス | 香川県高松市紺屋町3-6 | 25,478 | 44.17 |
| 穴吹 忠嗣 | 香川県高松市 | 7,874 | 13.65 |
| (株)カトーサービス | 香川県観音寺市坂本町4-6-3 | 1,400 | 2.43 |
| あなぶき興産従業員持株会 | 香川県高松市鍛冶屋町7-12 | 788 | 1.37 |
| 穴吹 薫 | 香川県高松市 | 779 | 1.35 |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019 (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部) | AIB INTERNATIONAL CENTRE P.O. BOX 518 IFSC DUBLIN, IRELAND (東京都中央区日本橋3-11-1) | 774 | 1.34 |
| 和歌 弘州 | 香川県高松市 | 730 | 1.27 |
| (株)ワカタケ | 大阪市生野区林寺4-8-8 | 516 | 0.89 |
| BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 (株)三菱東京UFJ銀行) | 245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210 U.S.A (東京都千代田区丸の内2-7-1) | 499 | 0.87 |
| (株)中国銀行 | 岡山市北区丸の内1-15-20 | 360 | 0.62 |
| 計 | - | 39,200 | 67.96 |

(注) 上記のほか、自己株式が4,340千株あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年12月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|---------------------------|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 4,340,000 | - | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 53,326,000 | 53,326 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 12,000 | - | - |
| 発行済株式総数 | 57,678,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 53,326 | - |

【自己株式等】

平成26年12月31日現在

| 所有者の氏名又は 名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株 式数(株) | 他人名義所有株 式数(株) | 所有株式数の合 計(株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|----------------|--------------------|------------------|------------------|-----------------|--------------------------------|
| 穴吹興産(株) | 香川県高松市鍛冶 屋町7-12 | 4,340,000 | - | 4,340,000 | 7.52 |
| 計 | - | 4,340,000 | - | 4,340,000 | 7.52 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年7月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日) |
|-----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,200,177 | 8,377,810 |
| 受取手形及び売掛金 | 967,814 | 1,084,205 |
| 有価証券 | - | 1,500,000 |
| 販売用不動産 | 4,340,545 | 4,610,391 |
| 仕掛販売用不動産 | 23,317,326 | 19,625,924 |
| その他のたな卸資産 | 111,254 | 138,786 |
| 繰延税金資産 | 375,084 | 502,217 |
| その他 | 1,541,905 | 1,588,824 |
| 貸倒引当金 | 22,397 | 18,387 |
| 流動資産合計 | 35,831,708 | 37,409,774 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 8,746,161 | 9,084,005 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 938,627 | 885,753 |
| 土地 | 6,645,198 | 6,671,130 |
| 建設仮勘定 | 343,837 | 302,982 |
| その他(純額) | 241,423 | 280,581 |
| 有形固定資産合計 | 16,915,248 | 17,224,453 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 265,400 | 224,478 |
| その他 | 132,428 | 172,273 |
| 無形固定資産合計 | 397,829 | 396,751 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 141,020 | 151,374 |
| 繰延税金資産 | 274,529 | 275,997 |
| その他 | 2,188,524 | 2,233,458 |
| 貸倒引当金 | 13,205 | 14,966 |
| 投資その他の資産合計 | 2,590,868 | 2,645,863 |
| 固定資産合計 | 19,903,946 | 20,267,068 |
| 資産合計 | 55,735,655 | 57,676,842 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,119,765 | 4,340,528 |
| 短期借入金 | 4,198,000 | 1,699,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 674,000 | 874,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,969,613 | 2,802,687 |
| 未払法人税等 | 585,622 | 2,212,296 |
| 賞与引当金 | 512,327 | 473,138 |
| 前受金 | 7,454,644 | 5,307,529 |
| その他 | 2,619,622 | 1,949,830 |
| 流動負債合計 | 21,133,595 | 19,659,009 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 8,339,000 | 8,202,000 |
| 長期借入金 | 10,873,305 | 11,320,941 |
| 退職給付に係る負債 | 511,664 | 524,932 |
| 役員退職慰労引当金 | 73,044 | 63,286 |
| 繰延税金負債 | 125,895 | 127,231 |
| その他 | 1,168,990 | 1,539,811 |
| 固定負債合計 | 21,091,899 | 21,778,202 |
| 負債合計 | 42,225,495 | 41,437,211 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 755,794 | 755,794 |
| 資本剰余金 | 821,283 | 821,283 |
| 利益剰余金 | 12,046,058 | 14,759,375 |
| 自己株式 | 444,088 | 444,130 |
| 株主資本合計 | 13,179,048 | 15,892,322 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 753 | 5,211 |
| その他の包括利益累計額合計 | 753 | 5,211 |
| 少数株主持分 | 330,358 | 342,096 |
| 純資産合計 | 13,510,160 | 16,239,630 |
| 負債純資産合計 | 55,735,655 | 57,676,842 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日) |
|-------------------|--|--|
| 売上高 | 47,296,876 | 44,955,823 |
| 売上原価 | 35,495,075 | 34,250,202 |
| 売上総利益 | 11,801,801 | 10,705,620 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,589,755 | 5,749,448 |
| 営業利益 | 6,212,045 | 4,956,172 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5,174 | 5,409 |
| 受取配当金 | 441 | 548 |
| 持分法による投資利益 | 8,767 | 13,593 |
| 受取手数料 | 6,584 | 5,700 |
| 保険返戻益 | 11,134 | 319 |
| 償却債権取立益 | 3,360 | 1,807 |
| その他 | 14,932 | 17,272 |
| 営業外収益合計 | 50,394 | 44,650 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 162,267 | 188,373 |
| その他 | 69,645 | 43,150 |
| 営業外費用合計 | 231,912 | 231,523 |
| 経常利益 | 6,030,527 | 4,769,299 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 197,625 |
| 特別利益合計 | - | 197,625 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | - | 16,424 |
| 固定資産除却損 | 2,084 | 1,788 |
| 特別損失合計 | 2,084 | 18,212 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,028,443 | 4,948,712 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,794,281 | 2,210,665 |
| 法人税等調整額 | 101,849 | 129,707 |
| 法人税等合計 | 2,692,431 | 2,080,957 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,336,011 | 2,867,754 |
| 少数株主利益又は少数株主損失() | 7,772 | 10,350 |
| 四半期純利益 | 3,343,784 | 2,857,403 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,336,011 | 2,867,754 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,126 | 4,457 |
| その他の包括利益合計 | 4,126 | 4,457 |
| 四半期包括利益 | 3,340,138 | 2,872,212 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,347,910 | 2,861,861 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 7,772 | 10,350 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,028,443 | 4,948,712 |
| 減価償却費 | 293,601 | 484,878 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 5,241 | 2,249 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 45,405 | 39,189 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 21,071 | - |
| 退職給付に係る負債の増減額(は減少) | - | 13,268 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(は減少) | - | 9,758 |
| 受取利息及び受取配当金 | 5,615 | 5,957 |
| 支払利息 | 162,267 | 188,373 |
| 固定資産売却損益(は益) | - | 181,200 |
| 固定資産除却損 | 2,084 | 1,788 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 5,666 | 101,429 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 2,214,134 | 3,394,033 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 6,285,201 | 2,210,302 |
| その他 | 2,544,367 | 2,305,870 |
| 小計 | 12,410,991 | 8,595,701 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,389 | 3,754 |
| 利息の支払額 | 152,635 | 162,170 |
| 役員退職慰労金の支払額 | - | 3,242 |
| 法人税等の支払額 | 1,411,466 | 604,525 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 10,850,278 | 7,829,518 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の増減額(は増加) | 300 | 300 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 700,923 | 1,657,011 |
| 有形固定資産の売却による収入 | - | 593,968 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 16,098 | 69,771 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 5,045 | 5 |
| 貸付けによる支出 | 47,683 | 39,982 |
| 貸付金の回収による収入 | 5,627 | 7,878 |
| その他 | 55,521 | 298,056 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 708,302 | 866,566 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 606,000 | 2,499,000 |
| 長期借入れによる収入 | 3,209,109 | 2,579,231 |
| 長期借入金の返済による支出 | 5,160,442 | 2,298,521 |
| 社債の発行による収入 | 2,100,000 | 400,000 |
| 社債の償還による支出 | 130,000 | 337,000 |
| 自己株式の取得による支出 | - | 42 |
| 配当金の支払額 | 160,009 | 159,933 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 747,342 | 2,315,266 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 9,394,633 | 4,647,685 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,782,831 | 5,191,177 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | - | 35,518 |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | - | 5,270 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 18,177,465 | 9,869,110 |

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、あなぶきヘルスケア㈱を連結の範囲に含めております。また、重要性が乏しくなったため、UNO DESIGN STUDIO㈱を連結の範囲から除外しております。

なお、UNO DESIGN STUDIO㈱は、平成26年9月30日付で社名をアルファデザインスタジオ㈱に変更しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日) |
|----------|--|--|
| 社員給料 | 1,334,852千円 | 1,320,970千円 |
| 販売促進費 | 764,285 | 754,357 |
| 賞与引当金繰入額 | 358,413 | 350,449 |
| 退職給付費用 | 51,847 | 36,015 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 現金及び預金勘定 | 8,186,165千円 | 8,377,810千円 |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | 8,700 | 8,700 |
| 有価証券勘定に含まれる譲渡性預金 | 10,000,000 | 1,500,000 |
| 現金及び現金同等物 | 18,177,465 | 9,869,110 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成25年9月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 160,013 | 3 | 平成25年6月30日 | 平成25年9月27日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
 末後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|-------------|------------|-------|
| 平成26年2月12日 取締役会 | 普通株式 | 160,013 | 3 | 平成25年12月31日 | 平成26年3月10日 | 利益剰余金 |

当第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年12月31日)

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成26年9月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 160,013 | 3 | 平成26年6月30日 | 平成26年9月26日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
 末後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|-------------|-----------|-------|
| 平成27年2月10日 取締役会 | 普通株式 | 106,675 | 2 | 平成26年12月31日 | 平成27年3月9日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 不動産関連 事業 | 人材サービ ス関連事業 | 施設運営事業 | その他事業 | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結損 益計算書計上 額(注)2 |
|-----------------------|-------------|----------------|-----------|-----------|------------|-------------|---------------------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 40,158,692 | 3,036,637 | 2,575,774 | 1,525,771 | 47,296,876 | - | 47,296,876 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 130,235 | 11,155 | 19,983 | 375,692 | 537,067 | 537,067 | - |
| 計 | 40,288,928 | 3,047,792 | 2,595,758 | 1,901,464 | 47,833,943 | 537,067 | 47,296,876 |
| セグメント利益又は損失() | 6,125,685 | 27,982 | 105,194 | 7,824 | 6,210,722 | 1,323 | 6,212,045 |

(注)1. 調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 不動産関連 事業 | 人材サービ ス関連事業 | 施設運営事業 | 介護医療関 連事業 | その他事業 | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結損 益計算書計上 額(注)2 |
|-----------------------|-------------|----------------|-----------|--------------|-----------|------------|-------------|---------------------------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 36,949,911 | 3,000,283 | 2,819,304 | 861,761 | 1,324,562 | 44,955,823 | - | 44,955,823 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 133,227 | 14,268 | 29,795 | 22 | 120,816 | 298,129 | 298,129 | - |
| 計 | 37,083,138 | 3,014,551 | 2,849,100 | 861,783 | 1,445,379 | 45,253,953 | 298,129 | 44,955,823 |
| セグメント利益又は損失 () | 5,386,327 | 37,577 | 124,203 | 564,476 | 28,822 | 4,954,810 | 1,362 | 4,956,172 |

(注)1. 調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、介護医療関連事業の重要性が増したため、報告セグメントを従来の「不動産関連事業」「人材サービス関連事業」「施設運営事業」「その他事業」の4事業区分としておりましたが、「不動産関連事業」「人材サービス関連事業」「施設運営事業」「介護医療関連事業」「その他事業」の5事業区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分方法により作成すること及び当第2四半期連結累計期間のセグメント情報を、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分方法により作成することは実務上困難なため、当該情報については開示を行っておりません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 62円69銭 | 53円57銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 3,343,784 | 2,857,403 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 3,343,784 | 2,857,403 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 53,337 | 53,337 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成27年2月10日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....106百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....2円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成27年3月9日

(注) 平成26年12月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年2月10日

穴吹興産株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 千葉 達也
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 渡辺 力夫
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている穴吹興産株式会社の平成26年7月1日から平成27年6月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年7月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、穴吹興産株式会社及び連結子会社の平成26年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。